

AGUD・P Library Letter

平成30年 11月利用状況

平成30年12月3日

(1)開館日数及び入館者数

(昼間・9:00～17:30、夜間・17:30～20:00)

	開館日数		入館者数		
	昼間	夜間	昼間	夜間	合計
楠元	24	21	10,464	1,908	12,372
末盛分室	24	21	1,753	392	2,145
合計	—————		12,217	2,300	14,517

学外利用者(登録なし) :	楠元	13
	末盛分室	0

(2)帯出人数

	教職員	学生	その他登録者	合計
人数	52	282	19	353

帯出人数「学生」のうち :人

歯学部学生	薬学部学生	短大生
142	94	21

(3)帯出冊数

	教職員	学生	その他登録者	合計
冊数	107	480	44	631

(4)-1文献相互貸借依頼件数 (4)-2図書・雑誌貸借依頼件数

	件数			件数	
学外受付	58	(42)	学外貸出	0	(0)
学外依頼	23	(1)	学外借受	0	(0)
合計	81	(43)	合計	0	(0)

※()内数字は大学図書館以外

(4)-3CAN図書貸借依頼件数 (4)-4学内図書貸借依頼件数

	件数
学外貸出	0
学外借受	10
合計	10

	件数
学内貸出	7
学内借受	7
合計	14

例年なら暦の上でも体感でも冬を感じる11月ですが、今年は気象庁から『エルニーニョ現象』が起こっていると発表され、それを裏付けるように暖かい日が続いていました。直近では二年前にも起こっていたようですが、『エルニーニョ現象』がどういったものか知っていますか？

ブリタニカ国際大百科事典によると「赤道付近の東太平洋で、クリスマスの頃赤道に向かって流れるフンボルト海流が弱まり、海面温度が上昇する現象のこと。数年に一度、東太平洋の広い範囲で海面温度が上がる現象が6ヶ月から1年くらい続く」とあります。エルニーニョ(スペイン語で「神の子」の意)現象が起こると、日本でも冷夏、暖冬、梅雨明けの遅れなど様々な影響が生じます。季節は体調にも大きく関わってくるもの。『天気痛を治せば頭痛、めまい、ストレスがなくなる!』(498.4/Sa楠元所蔵)など参考にしてみてもいいでしょうか。